

1 沿革の概要

○沿革

年 月 日	沿 革	年 月 日	沿 革
昭和 54. 4. 1	北海道星置養護学校設置認可	11.28	平成 6 年度教育者表彰（文部省）受賞
4. 10	太陽の園分校入学式	平成 7. 11. 15	・第 6 代校長 三浦 力彌
4. 12	しりべし学園分校入学式		学童・生徒ボランティア実践研究発表会
4. 16	本校入学式		平成 9・10 年度交流教育事業推進協力指定校
5. 18	開校式挙行、校旗・校章・校歌制定	平成 9. 4. 1	(文部省)
昭和 56. 10. 8~9	第 3 回北海道精神薄弱養護学校教育研究協議会研究大会	9. 11	第 16 回北海道精神薄弱養護学校体育大会
昭和 57. 11. 16	第 3 回北海道精神薄弱養護学校 PTA 研究大会	平成 10. 4. 1	高等部設置
昭和 58. 10. 16	第 8 回北海道特殊教育関係 PTA 研究大会	9. 26	星置養護学校 20 歳おめでとうの会
昭和 59. 9. 8	第 3 回北海道精神薄弱養護学校体育大会	平成 11. 2. 10	開校 20 周年記念実践研究会
11. 11	第 9 回北海道特殊教育関係 PTA 研究大会	6. 21	高等部校舎工事着工
昭和 60. 11. 16	第 6 回北海道精神薄弱養護学校 PTA 研究大会	10. 20	第 21 回北海道知的障害養護学校教育研究大会
昭和 61. 4. 1	昭和 61 年度心身障害児適正就学推進研究指定校 (文部省)	平成 12. 3. 21	高等部校舎完成
昭和 63. 9. 3	第 9 回北海道精神薄弱養護学校 PTA 研究大会	12. 13	高等部校舎完成を祝う会
11. 13	開校 10 周年記念式典挙行	平成 13. 6. 29	地域ボランティアセミナー開講（年 8 回）
平成元. 2. 10	開校 10 周年記念公開授業研究会	平成 14. 2. 21	障害児家庭教育学級開設
平成 2. 4. 1	新学校教育目標制定	平成 15. 3. 28	プール改築工事完成
9. 13	第 9 回北海道精神薄弱養護学校体育大会	11. 29	児童生徒の地域活動を充実するためのセミナー開講（全国的障害養護学校 P T A 連合会を主管）
10. 18	第 25 回全国学校体育研究大会・特殊教育諸学校部会	平成 20. 12. 5	平成 30 周年記念公開研究会開催
12. 1	平成 2 年度北海道教育功績者表彰受賞 ・第 4 代校長 岡田 信一	平成 21. 4. 1	自閉症に対応した教育課程のあり方に関する調査研究（平成 21、22 年度文部科学省委託事業）
12. 19	北海道第 36 号（北海道立学校条例の一部改正する条例）により、平成 3 年 4 月 1 日付け「しりべし学園分校は北海道余市養護学校、太陽の園分校は北海道室蘭養護学校」に変更	10. 29	全日本特別支援教育研究連盟功労者表彰 ・第 13 代校長 井上 繁夫
平成 3. 2. 5	平成 2 年度北海道教育実践表彰受賞	平成 22. 12. 20	石狩紅葉山校舎改修工事終了
8. 5	養護教諭制度 50 周年記念学校保健功労者表彰受賞 ・養護教諭 岩木みどり	平成 23. 1. 20	石狩紅葉山校舎開設
10. 6	第 26 回北海道特殊教育振興大会（札幌大会）主管校	4. 1	星置校舎、石狩紅葉山校舎両校舎を利用して本格的な授業開始
12. 20	第 6 回北海道精神薄弱養護学校生活体験発表会主管校	7. 20	北海道星置養護学校石狩紅葉山校舎・石狩市学び交流センター合同開所式
平成 5. 10. 30	第 14 回北海道精神薄弱養護学校 PTA 研究大会	平成 24. 9. 20	第 51 回全日本特別支援教育研究連盟全国大会北海道大会会場校
平成 6. 8. 27	全国精神薄弱養護学校 PTA 連合会第 13 回全国研究協議大会主管校	平成 26. 4. 1	高等部、ほしみ高等学園として移転、分校化
		平成 26. 8.	全国特別支援学校知的障害教育校 PTA 連合会平成 26 年度第 33 回全国研究協議会北海道大会（札幌大会）主管
		23~24	
		平成 27. 12. 1	平成 27 年度教育者表彰（文部科学省）受賞 ・第 16 代校長 五十嵐 利裕

○歴代校長

歴代	氏名	在職期間	歴代	氏名	在職期間
初代	美濃又重道	昭和 54. 4. 1～昭和 57. 3. 31	第 11 代	奥田 裕志	平成 16. 4. 1～平成 19. 5. 9
第 2 代	石川 敏郎	昭和 57. 4. 1～昭和 61. 3. 31	第 12 代	百井 悦子	平成 18. 6. 16～平成 20. 3. 31
第 3 代	花輪 稔	昭和 61. 4. 1～昭和 63. 3. 31	第 13 代	井上 繁夫	平成 20. 4. 1～平成 22. 3. 31
第 4 代	岡田 信一	昭和 63. 4. 1～平成 3. 3. 31	第 14 代	高橋 正志	平成 22. 4. 1～平成 24. 3. 31
第 5 代	跡部 敏之	平成 3. 4. 1～平成 4. 3. 31	第 15 代	荒木 文生	平成 24. 4. 1～平成 26. 3. 31
第 6 代	三浦 力彌	平成 4. 4. 1～平成 7. 3. 31	第 16 代	五十嵐利裕	平成 26. 4. 1～平成 29. 3. 31
第 7 代	大橋 憲義	平成 7. 4. 1～平成 9. 3. 31	第 17 代	嵯峨 豪	平成 29. 4. 1～平成 31. 3. 31
第 8 代	阿部 舜三	平成 9. 4. 1～平成 11. 3. 31	第 18 代	伊藤 友紀	平成 31. 4. 1～令和 3. 3. 31
第 9 代	佐藤 義昭	平成 11. 4. 1～平成 14. 3. 31	第 19 代	田近 憲二	令和 3. 4. 1～令和 5. 3. 31
第 10 代	村上 繁幸	平成 14. 4. 1～平成 16. 3. 31	第 20 代	浅井 謙作	令和 5. 4. 1～

校 章



構 想 百 井 惣 一
 デザイン 佐 藤 幸 一

由 来

星形は地名と学校名の星置を
 五光星は五つの生活指針を
 白鳩は北海道の地形と平和の心を
 金色は光明と心の広さを
 銀色は新雪と心のきよさを
 旗色は濃緑で北海道の大地をあらわす
 (星と養の文字は金色、鳩は銀色)

校 歌

星 置 養 護 学 校 校 歌

作詞 美濃又 重 道
 作曲 新 田 利 恵

mf

ていしねのりみがねをのながべにめたつたつみやわ
 おしおかはまののわのみまなめにかつたつみわ
 いしいひざぶどしきりののまななびびやにっど
 およいひみどしきりののまななびびやにっど
 いしいししこらら一ががかはきたげたりみえあ一ううほし
 おおききよううごににひめかぞぐりみみああれれ

一 手稲の峰をながめつつ
 やわい陽ざしの 学び舎に
 集いし児らが 語り合う
 星置養護に 光あれ

二 石狩川の 野辺にたつ
 若い息吹き の 学び舎に
 集いし児らが 励み合う
 星置養護に 望みあれ

三 大浜の海岸 間近に見
 きよいみどりの 学び舎に
 集いし児らが きたえ合う
 星置養護に 恵みあれ

I 教育目標

◆VISION(実現したい未来)

学校教育目標
一人一人の思いを大切に、豊かに生きる力を育てる

めざす学校像【共に学び、共に育つ学校～信頼・協力・感動～】
 ・世界一最も笑顔があふれた幸せ【最幸】な学校
 ・心がワクワクする学校
 ・子どもから学び、保護者と学び、地域と共に歩む学校
 ・(各職員記入)

めざす職員像【和(協働)=笑+話+輪】
 ・【和】一人ひとりの強みと弱みを尊重(協働)する職員
 ・【笑】仕事は楽しく(笑顔)する職員
 ・【話】対話を大切に(対話)する職員
 ・【輪】チームで業務を推進(チーム)する職員
 ・(各職員記入)

何ができるようになるか(学校教育の基本)
 ・自分の思いを何らかの形で相手に伝える
 ・自分から主体的に取り組む
 ・学んだことを社会生活に活かす
 ・(各職員記入)

何が身についたか(学校評価を通じた学習指導の改善)
 ・学習活動の振り返りの充実(自己評価及び他者評価)
 ・個別的教育支援計画、個別の指導計画(通知表)
 ・学校評価等における自己評価(教職員、保護者等)
 ・(各職員記入)

児童・生徒の実態
 ・知的に障がいのある児童生徒
 ・身体障がい等、併せもつ児童生徒
 ・社会生活経験や体験が少ない児童生徒
 ・コミュニケーションを指導目標にしている児童生徒
 ・(各職員記入)

**児童生徒の発達支援
 キャリア教育**
 ・(各職員記入)

めざす児童・生徒像【みずから・よろこび・つたえあい】
 ・挨拶、返事、お礼が色々な形でできる児童生徒
 ・自分の思いを何らかの形で相手に伝える児童生徒
 ・自分から主体的に取り組む児童生徒
 ・学んだことを社会生活に活かす児童生徒
 ・(各職員記入)

何を学ぶか(教育課程の編成)
 ・各教科の関連性をもたせた教科の系統的・横断的指導計画
 ・キャリア発達を意識し、12年(6+3+3)を見通した指導計画
 ・教科等合わせた指導、総合的な学習【探求】、自立活動、特別な教科道徳
 ・次期学習指導要領 論点整理
 ・(各職員記入)

どのように学ぶか(教育課程の実施)
 ・卒業後の社会生活に活かすための基礎・基本の習得
 ・主体的対話的で深い学び
 ・交流及び共同学習
 ・地学協働
 ・(各職員記入)

実施するために何が必要か(指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働)
 ・一校三校舎体制の強化及び関係機関との連携・協働
 ・地域との接点をもった交流及び共同学習
 ・地域資源を活用した体験的、問題解決的な学習活動の積極的な行動
 ・外部からの評価を取り入れた教育課程の編成の視点
 ・(各職員記入)

◆SLOGAN(合言葉)

SDGsの視点 **星置「笑育最幸」** **笑顔の教職員が笑顔の子どもを育てる** **マルチトリートメント リスペクト**

MISSION (日々果たすべき使命)
見えて 聴こえて 風通しのいい 網戸張りの学校経営をめざす

『双方向性のある対話と行動を意識し、教職員一人ひとりの強みと弱みを尊重し、連動して課題解決を図る』

【命】
 命、防災、防犯の教育
 ・多様性、人権尊重の徹底
 ・自然災害、防犯等の教育の充実
 ・正しい情報教育の推進
 ・食物アレルギー等情報共有

【環境】
 安全・安心な人的、物的空間
 ・学部間一体の横断的系統的指導
 ・コンプライアンスの意識徹底
 ・学習環境の整理整頓清掃
 ・地域を含めた教場の拡大

【夢】
 キャリア教育の推進
 ・地域保幼小中高とC.Oの連携
 ・計画的・系統的な進路指導
 ・交流及び共同学習の推進
 ・CSの推進及び深化

【挑戦】
 人間力の向上
 ・教務と研究及び研修の連携
 ・AI、DX、ICTの研修、整備
 ・情報発信のスピード化
 ・人材育成及びOJTの強化

サーバントリーダーシップで教職員をバックアップする管理職

◆VALUE(考動指針)
 1 私たちは、全ての命を最優先にした行動をします。(安全第一)
 2 私たちは、生徒の未来のために、長期的な視点で学習を展開します。(学習保障)
 3 私たちは、家族を思い、社会に胸を張れる仕事をします。(働き方改革)

〔網戸張りの学校経営とは〕ガラス張りのように「見える(透明性)」のある学校経営ではなく、教職員一人ひとりのアンテナを高く保ち、風(外部からの意見や情報等)を瞬時にキャッチし、それに対して迅速に対応する予測と備えが必要である。そのためには、学校のスタンスを明確にして情報を行き来させながら教職員一人ひとりが学校経営に参画し、組織として風をコントロールして日々の教育実践を積み上げていく『瞬発力』が求められる。学校は『生きている』。人・もの・金そして情報発信や情報収集で良くも悪くもなる。だからこそ教職員一人ひとりが双方向性のある『対話と行動』を意識して連動し、見えて 聴こえて 風通しのいい『網戸張りの学校経営』をめざすことが、これからの次代に求められる学校のスタンダードと私は確信している。

II 校務運宮組織

4 児童生徒の状況

(1) 学級別、児童生徒数等

53 学級 228 名

(令和8年4月1日現在)

形態			在 校								訪 問 教 育					
校舎	学部	学年	男	女	児 童 生徒数	寄 宿舎	通学	普通 学級	重複 学級	(普) 児 童 生徒数	(重) 児 童 生徒数	男	女	児 童 生徒数	学級 数	
星置校舎	小学部	1	10	9	19	0	19	3	5	18	1	0	0	0	3	
		2	18	3	21	0	21	3		18	3	0	1	1		
		3	16	1	17	0	17	3		15	2	1	2	3		
		4	18	7	25	0	25	4		23	2	1	2	3		
		5	13	3	16	0	16	2		12	4	0	1	1		
		6	10	9	19	0	19	3		17	2	1	0	1		
		計	85	32	117	0	117	18		5	103	14	3	6		9
	中学部	1	17	6	23	0	23	4	3	19	4	0	0	0	2	
		2	8	4	12	0	12	2		8	4	1	0	1		
		3	8	5	13	0	13	3		13	0	1	2	3		
		計	33	15	48	0	48	9		3	40	8	2	2		4
	計			118	47	165	0	165	27	8	143	22	5	8	13	5
	石狩紅葉山校舎	小学部	1	5	3	8		8	2	2	7	1				
			2	6	0	6		6	1		5	1				
3			3	3	6	6		1	5		1					
4			4	2	6	6		1	6		0					
5			6	0	6	6		1	5		1					
6			7	1	8	8		2	7		1					
計			31	9	40	40		8	2		35	5				
中学部		1	2	2	4		4	1	1	4	0					
		2	1	3	4		4	1		4	0					
		3	2	0	2		2	0		0	2					
		計	5	5	10		10	2		1	8				2	
計			36	14	50		50	10	3	43	7					
合計			154	61	215	0	215	37	11	186	29					

スクールバス利用	小学部	中学部	合計
星置校舎	130	35	165
石狩紅葉山校舎	33	6	39

(2) 居住地別児童生徒数

(令和8年4月1日現在)

校舎	地域	在 校		訪 問		合計	
		小学部	中学部	小学部	中学部		
星置	石狩	札幌市	117	47	6	1	171
	後志	小樽市	0	1	3	3	7
石狩紅葉山	石狩	札幌市	23	5			28
		石狩市	16	5			21
		当別町	1	0			1
合計			157	58	9	4	228

Ⅲ 学部運営計画

令和8年度小学部（星置校舎）運営計画

1 小学部教育目標

地域生活に必要な力の育成のため、学校生活を通して、低学年では集団参加の基礎を身に付け、高学年ではよりよい集団参加ができるように次の目標を掲げる。

（1）知識・技能の習得

- ・低学年：身近な物事を理解し、身の回りの生活に必要な動作や習慣（衣服の着脱、食事、用便、手洗い、歯磨き等）を身に付ける子どもを育てる。
- ・高学年：日常生活に必要な言葉や数量を理解し、身近な生活に必要な習慣や態度（身の回りの整理や食事・用便マナー、清潔等）を身に付ける子どもを育てる。

（2）思考力・判断力・表現力等の育成

- ・低学年：提示された情報を手掛かりにして見通しをもち、相手からの働きかけに自ら答えたり、必要に応じて身近な教師の援助を求めて行動したりする子どもを育てる。
- ・高学年：自ら情報収集し考えたことを様々な方法で表現したり、必要に応じて身近な人に質問や協力の依頼をしながらやり遂げようとしたりする子どもを育てる。

（3）学びに向かう力・人間性等の涵養

- ・低学年：自分のことに自ら取り組もうとしたり、意欲をもって最後まで取り組んだりする子どもを育てる。
- ・高学年：習熟や達成の経験を積み、仲間との活動や役割を担うことを通して、興味関心や意欲を高める子どもを育てる。

2 小学部運営の方針（重点）

学校経営方針をもとに学部経営に努める。

学部においては、協働・協力を基礎とし、各学年を中心にチーム力を発揮し組織運営に努める。また、学部内はもとより、校舎間、学部間、保護者や地域、関係機関等との連携を重視しながら、児童の人権を尊重し、学習の個別化と最適化の充実を図ることができる学部を目指して学部経営に努める。

（1）教育の重点

- ・児童一人ひとりの的確な実態把握をし続け、身に付けさせたい力やねらいを明確化・焦点化した授業を実践し、着実かつ確実に児童の力を伸ばす。
- ・児童一人ひとりが頑張りたいことや目的意識をもって学習に向かい、自分の思いを相手に伝え、「できるようになった」ことを増やす授業を実践する。

（2）経営の重点

- ・学年や学級で対話を重視し、チームティーチングの充実を図ることで協働性を高め、効果的な授業づくりの探求と実践に努める。
- ・各自が自分の役割（学級・学年業務、分掌業務）への責任を果たし、子ども達を常に中心に据えながら効果的・効率的な業務推進に努める。

3 指導組織

個別のねらいを達成するために、各教科等を合わせた指導及び教科別・領域別の指導において、学年を中心とした指導組織の充実を図り、学級、学年、個別あるいはグループに分かれるなど多様な学習形態にて指導を行う。加えて、集団の中で自分の力を発揮する力を身につけることを目指し、学年進行に合わせながら段階的に2学年合同のブロックでの指導を計画的に行う。

令和8年度小学部（石狩紅葉山校舎）運営計画

1 小学部教育目標

地域生活に必要な力の育成のため、学校生活を通して、低学年では集団参加の基礎を身に付け、高学年ではよりよい集団参加ができるように次の目標を掲げる。

(1) 知識・技能の習得

- ・低学年：身近な物事を理解し、身の回りの生活に必要な動作や習慣（衣服の着脱、食事、用便、手洗い、歯磨き等）を身に付ける子どもを育てる。
- ・高学年：日常生活に必要な言葉や数量を理解し、身近な生活に必要な習慣や態度（身の回りの整理や食事・用便マナー、清潔等）を身に付ける子どもを育てる。

(2) 思考力・判断力・表現力等の育成

- ・低学年：提示された情報を手掛かりにして見通しをもち、相手からの働きかけに自ら答えたり、必要に応じて言葉やカードなどコミュニケーション手段で身近な教師の援助を求めて行動したりする子どもを育てる。
- ・高学年：自ら情報収集し考えたことを様々な方法で表現したり、言葉やカードなどコミュニケーション手段を活用し必要に応じて身近な人に質問や協力の依頼をしながらやり遂げようとしていたりする子どもを育てる。

(3) 学びに向かう力・人間性等の涵養

- ・低学年：自分のことに自ら取り組もうとしたり、意欲をもって最後まで取り組んだりする子どもを育てる。
- ・高学年：習慣や達成の経験を積み、仲間との活動や役割を担うことを通して、興味関心や意欲を高める子どもを育てる。

2 小学部運営の方針（重点）

学校経営方針をもとに学部経営に努める。

学部においては、校舎のよさを生かし、協働・協力を基礎としたチームとしての取り組みを重視し、その中で個々の能力・特性を発揮して業務推進に努める。また学部内はもとより、校舎間、学部間、保護者や地域、関係機関等との連携を重視しながら、児童一人一人の力を引き出し、その力を伸ばすことができる学部を目指して学部経営に努める。

(1) 教育の重点

- ・児童一人一人の的確な実態把握のもと、学習集団に応じた協働的な学びの中で、個別・最適化された学習と適切に課題設定された授業を計画し、実践する。
- ・ICT機器の効果的な活用、地域資源を活用した体験的、課題解決的な学習活動を展開し、様々な教育活動を通して心豊かに生きるための資質・能力の向上に努める。

(2) 経営の重点

- ・各自が自分の役割（学級・ブロック業務、分掌業務）への責任を果たし、計画的に業務を推進することで、学部の協働体制を強化するとともに、効果的・効率的な業務推進に努める。
- ・児童の健康と安全・安心な環境を維持、確保に努めるとともに人権に配慮した関わり、事故防止に努める。
- ・障害特性やそれに応じた指導方法についての研修や指導方法の共有を行い、特性に応じた指導の実践力を高める。

3 指導組織

個別のねらいを達成するために、各教科等を合わせた指導及び教科別・領域別の指導において、学級、ブロック、個別あるいはグループに分かれるなど多様な学習形態を工夫しながら指導を行う。加えて、学部をこえた紅葉山校舎独自の教育活動を計画・実施し、校舎一体となった取り組みを通して、協働的な学習組織の構築を図る。

令和8年度中学部（星置校舎）運営計画

1 中学部教育目標

地域生活に必要な力の育成のため、学校生活を通して、社会参加の基礎を身に付けることができるように次の目標を掲げる。

(1) 知識・技能の習得

・社会生活に必要な体力や場に応じた態度（健康保持、身だしなみ、言葉遣い等）を身につけるとともに、言葉や数量を実際の場面で活用できる子どもを育てる。

(2) 思考力・判断力・表現力等の育成

・様々な人との関わりの中で、自分の状態や周囲の状況、目的に応じて、助けを求めたり相手に分かるように考えを伝えたり、気持ちを表現したりする子どもを育てる。

(3) 学びに向かう力・人間性等の涵養

・仲間や地域の人と関わり、協働したり、人の役に立ったりする経験を通して、自己有用感を高める子どもを育てる。

2 中学部運営の方針（重点）

学校経営方針をもとに学部経営に努める。

学部においては、協働・協力を基礎とし、各学年を中心にチーム力を発揮しながら組織運営に努める。また、学部内はもとより、校舎間、学部間、保護者や地域、関係機関等との連携を重視しながら、生徒の人権を尊重し、学習の個別化と最適化の充実を図ることができる学部を目指して学部経営に努める。

(1) 教育の重点

・生徒一人一人の的確な実態把握のもと、身に付けさせたい力やねらいを明確にし、「自分で目標をもち、思いを表現し、自分自身の学びや成長を実感できる」授業を展開する。

・各指導形態において ICT や地域資源を効果的に活用した教育活動をする中で、仲間や地域など様々な人との関わりや交流を通してつながりを意識し、地域貢献を意識した学習活動の充実を図る。

(2) 経営の重点

・各自がその所属の中での自分の役割を理解し、効率化を意識しながら責任をもって推進する。

・生徒一人一人の人権に配慮した呼称、態度、関わりなど生活年齢に合わせ適切な指導に努める。

3 指導組織

個別のねらいを達成するために、各教科等を合わせた指導及び教科別・領域別の指導において、学年を中心とした指導組織の充実を図り、学級や学年、個別あるいはグループに分かれるなど多様な学習形態にて指導を行う。加えて、学年を超えた縦割りのグループを編成した学習活動を行う。

令和8年度 中学部（石狩紅葉山校舎）運営計画

1 中学部教育目標

地域生活に必要な力の育成のため、学校生活を通して、社会参加の基礎を身に付けるために次の目標を掲げる。

（1） 知識・技能の習得

- ・ 社会生活に必要な体力や場に応じた態度（健康保持、身だしなみ、言葉遣い等）を身に付けるとともに言葉や数量を実施の場面で活用できる子どもを育てる。

（2） 思考力・判断力・表現力等の育成

- ・ 様々な人との関わりの中で、自分の状態や周囲の状況、目的に応じて、助けを求めたり、相手に分かるように考えを伝えたり、気持ちを表現したりする子どもを育てる。

（3） 学びに向かう力・人間性等の涵養

- ・ 仲間や地域の人とかかわり、協働したり、人の役に立ったりする経験を通して、自己有用感を高める子どもを育てる。

2 中学部運営の方針（重点）

学校経営方針をもとに学部経営に努める。

学部においては、校舎のよさを生かした協働・協力を基礎とした取り組みをチームとして発揮できるよう組織運営に努める。また、学部間、校舎間、家庭、関係機関、地域との連携を重視しながら、生徒一人一人の力を引き出し、その力を伸ばすことができる学部を目指して学部経営に努める。

（1） 教育の重点

- ・ 生徒一人一人の的確な実態把握のもと、身に付けさせたい力やねらいを明確にし、ICT も活用しながら、個別・最適化された学習と適切に課題設定された授業を展開する。
- ・ 地域資源を活用した教育活動を展開し、仲間や地域の方々との関わりや交流などの協働的な学びの機会を設定するなど、地域貢献・社会貢献を意識した学習活動の充実を図る。

（2） 経営の重点

- ・ 各学年、学部の中で各自が自分の役割に責任をもち、計画的に業務を推進するとともに、業務の進め方や分担を見直しながら、効率化を図る。また、チームとしての力を発揮するために、互いに良さを認め合いながら、個々の強みを生かすことができるような経営に努める。
- ・ 学部全体で応用行動分析や視覚支援、ICT の活用等生徒個々の特性に応じた指導について研修し、共通理解をもって効果的な教育に努める。
- ・ 生徒の健康と安全・安心な環境を維持、継続するために、環境の整備や危機管理体制の充実を図るとともに、人権に配慮した適切な指導や事故等の防止に努める。

3 指導組織

個別のねらいを達成するために、各教科等を合わせた指導及び教科別・領域別の指導において、学年あるいは学部を中心とした指導組織の充実を図り、学年、学部、個別あるいは生徒の実態に基づいた学習グループに分かれるなど、多様な学習形態にて指導を行う。加えて、学部をこえた紅葉山校舎全体での教育活動を計画・実施し、協働的な学習組織の構築を図る。

令和8年度 訪問教育部（小中学部訪問教育学級）運営計画

1 小中学部訪問教育学級 教育目標

自身の生活の場（家庭、入所施設、病院）で訪問教育を受ける児童生徒が、健康を保持しながら生き生きと学習活動に取り組み、心地よい経験の中で人とのよりよい関わりを広げていけるように次の目標を掲げる。

（1）知識・技能の習得

- ・見たり聞いたり感じたりしながら自分の身近にあるものを知り、五感からの入力に気付くことができる児童生徒を育てる。
- ・生活に必要な動作や習慣（体の動かし方や用具の使い方、挨拶等）を身に付けようとする児童生徒を育てる。

（2）思考力・判断力・表現力等の育成

- ・提示された情報を手掛かりにしながらか相手の関わりを受け止めたり、相手からの働き掛けに応えようとしたりすることができる児童生徒を育てる。
- ・自分の状況や周囲の状況を感じ取り、変化を受け入れたり対応したりすることができる児童生徒を育てる。
- ・人との関わりや学習活動で感じた気持ちなどを自分なりに表現したり、しようとしたりすることができる児童生徒を育てる。

（3）学びに向かう力・人間性等の涵養

- ・人や物事に関心をもち、自ら取り組んだり意欲をもって取り組んだりする児童生徒を育てる。
- ・人との関わり合いに喜びを感じ、興味関心や意欲を高める児童生徒を育てる。

※学齢超過者については、長年に渡り慣れ親しんだ生活の中に初めての学校生活が入るため負担過多にならないように配慮する。また生活年齢に応じた学習内容となるよう題材や教材の工夫をする。（学齢超過者編入は、令和8年度は1名）

※手稲溪仁会病院に入院することで本校の訪問教育対象となる児童生徒については、関係機関と連携を図りながら、本人の病状に応じた学習指導を行う。（今年度対象者なし）

2 訪問教育部運営の方針

協働・協力を基礎としながら組織運営に努める。また、児童生徒の所属する各学部（小学部、中学部）や学年、保護者、関係機関等との相互理解による連携を重視しながら合理的配慮を行い、一人一人の実態に応じたきめ細かい指導を行うことを目指して部の経営に努める。

（1）教育の重点

- ・対象が主に重度重複（肢体不自由）の児童生徒であることを踏まえ、個々の児童生徒の実態を的確に把握しながら課題を設定し、学習しやすい環境作りや授業改善を行う。
- ・訪問教育学級の目指す児童生徒の姿に迫るために、心地よい学習環境の中で本人の意思や気持ちりが尊重される授業を実施する。

（2）経営の重点

- ・児童生徒の健康を守り、安全・安心な環境を確保することで継続的な学習を保障するため、教師の健康管理と感染症の予防に努める。
- ・保護者や施設職員等と、きめ細かく情報交換を行う。
- ・業務の効率化を図ることで時間を確保し、児童生徒理解を深めるための実態交流や教材研究を行う。

3 指導組織

個別のねらいを達成するため、基本的には個別の指導を行う。また、合同で活動することにより学習効果が高まるものや行事に向けた学習については、可能な範囲で合同での指導を行う。

IV 教育課程

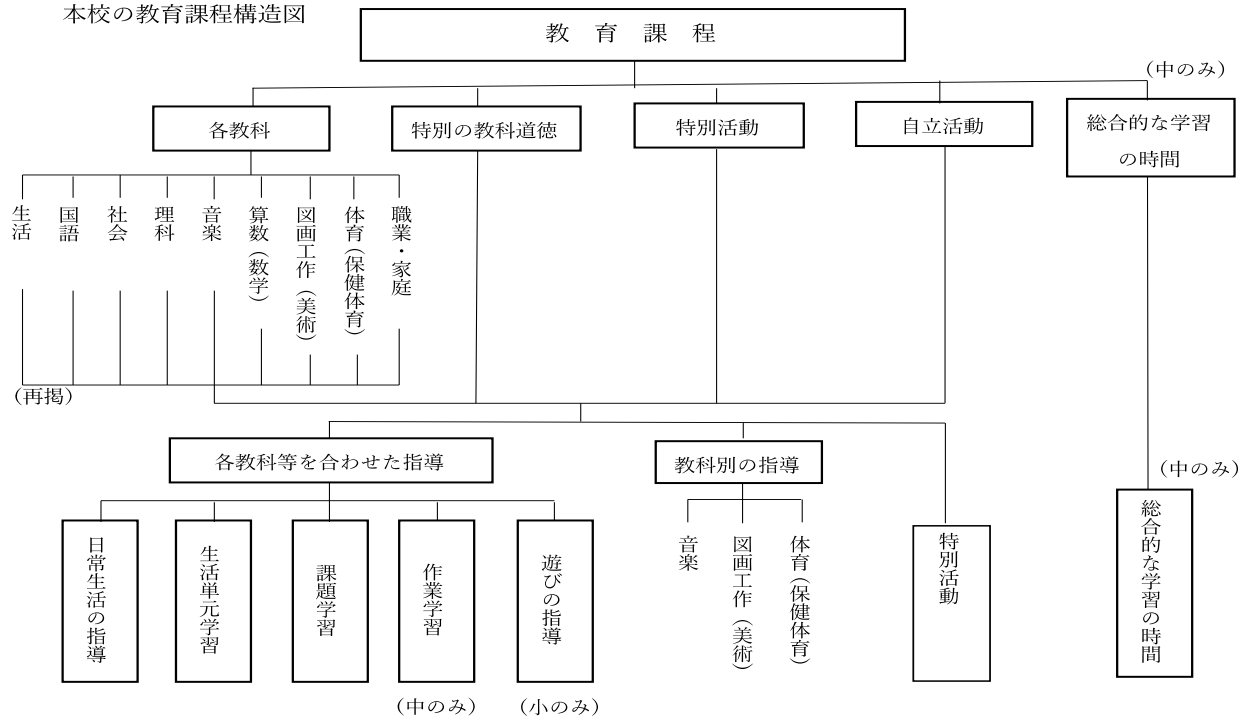
IV 教育課程

1 教育課程編成の基本方針

- (1) 法令及び学習指導要領に基づいて編成する。
- (2) 地域や学校の実態を十分に考慮する。
- (3) 障害の特性や発達段階をおさえ、児童生徒の実態に即して編成する。
- (4) 学校教育目標の達成を目指して編成する。
- (5) 小学部、中学部、高等部（ほしみ高等学園）のつながりを大切にされた教育課程の編成に努める。

2 教育課程の全体構造（小学部・中学部）

本校の教育課程構造図



自立活動は教育活動全般、特別の教科道徳は各教科等をお合わせた指導で取り扱っている

3 教育課程編成上の留意事項

- (1) 将来の自立と社会参加を見通し、社会の変化に対応した「生きる力」を育む教育計画
- (2) 個性や良さを伸ばす教育計画
- (3) 教科等横断的な視点からねらいを具体化した教育計画

4 年間授業日数

学期	月	暦日数	授業日数	休業日		合計
				土日祝日	その他	
前期	4	30	16	7	7	30
	5	31	17	13	1	31
	6	30	22	8	0	30
	7	31	14	7	10	31
	8	31	8	4	19	31
	9	30	19	11	0	30
	計		183	96	50	37
後期	10	31	21	10	0	31
	11	30	19	11	0	30
	12	31	17	6	8	31
	1	31	9	4	18	31
	2	28	18	10	0	28
	3	31	17	7	7	31
	計		182	101	48	33
合計		365	197	98	70	365

5 指導の形態別年間授業時数

小学部・中学部（星置校舎）

指導形態		学部	小学部						中学部			
		学年	1	2	3	4	5	6	1	2	3	
各教科等を 合わせた指導	遊びの指導		70	70	50	50	35	35				
	日常生活の指導		598	521	521	521	521	521	415	415	415	
	生活単元学習		60	60	90	125	140	140	105	105	105	
	作業学習								140	140	140	
	課題学習		35	112	137	137	137	137	105	105	105	
	小計(a)		763	763	798	833	833	833	765	765	765	
教科別・ 領域別の 指導	教科 別の 指導	生活										
		国語										
		社会										
		算数・数学										
		理科										
		音楽		35	35	65	65	65	65	70	70	70
		図工・美術		60	60	65	65	65	65	70	70	70
		体育・保体		52	52	52	52	52	52	70	70	70
		職業・家庭										
		外国語										
	小計(b)		147	147	182	182	182	182	210	210	210	
領域 別の 指導	特別の教科道徳											
	特別活動(行事) 星置校舎		13	10	10	11	25	27	10.5	20.5	29.5	
	自立活動											
	小計(c)		13	10	10	11	25	27	10.5	20.5	29.5	
総合的な学習の時間(d)									40	40	40	
合計(a+b+d)			910	910	980	1,015	1,015	1,015	1,015	1,015	1,015	

小学部・中学部（石狩紅葉山校舎）

指導形態		学部		小学部						中学部		
		学年		1	2	3	4	5	6	1	2	3
各教科等を合わせた指導	遊びの指導		52	52	52	35	35	35				
	日常生活の指導		560	560	567	574	574	574	416.5	416.5	416.5	
	生活単元学習		71	71	71	105	105	105	105	105	105	
	作業学習								140	140	140	
	課題学習		108.5	108.5	143.5	178.5	178.5	178.5	140	140	140	
	小計(a)		791.5	791.5	833.5	892.5	892.5	892.5	801.5	801.5	801.5	
教科別・領域別の指導	教科別の指導	生活										
		国語										
		社会										
		算数・数学										
		理科										
		音楽	53	53	70	70	70	70	70	70	70	
		図工・美術	52	52	52	70	70	70	70	70	70	
		体育・保体	52	52	70	70	70	70	70	70	70	
		職業・家庭										
		外国語										
	小計(b)		157	157	192	210	210	210	210	210	210	
領域別の指導	特別の教科道徳											
	特別活動(行事) 紅葉山校舎		23.1	23.1	21.7	21.3	35.7	36.3	23.8	32.3	39.8	
	自立活動											
	小計(c)		23.1	23.1	21.7	21.3	35.7	36.3	23.8	32.3	39.8	
総合的な学習の時間(d)								35	35	35		
合計(a+b+d)			948.5	948.5	1,025.5	1,102.5	1,102.5	1,102.5	1,046.5	1,046.5	1,046.5	

令和8年度 星置校舎小学部 時間割

8:55 登校	小1(標準時数850単位時間)				
	月	火	水	木	金
1校時 8:55~9:40	日常生活の指導				
業間 なし					
2校時 9:40~10:25	生活単元学 習	遊びの指導	生活単元学 習	課題学習	図画工作
業間 5分					
3校時 10:30~11:15	音楽	体育	図画工作	体育/日常生 活の指導	遊びの指導
業間 5分					
4校時 11:20~11:40	課題学習				
5校時(給食) 12:00~13:00	給食				
6校時/日生 13:00~13:45	日常生活の 指導	日常生活の 指導	日常生活の指 導(掃除)	日常生活の 指導	日常生活の 指導
業間/日生 13:50~14:10	13:20下校	13:20下校	日常生活の 指導	13:20下校	13:20下校
7校時 13:50~14:35			14:10下校		
業間 5分					
日生 14:40~15:10					

8:55 登校	小2(標準時数910単位時間)				
	月	火	水	木	金
1校時 8:55~9:40	日常生活の指導				
業間 なし					
2校時 9:40~10:25	課題学習	図画工作	体育/日常生 活の指導	生活単元学 習	遊びの指導
業間 5分					
3校時 10:30~11:15	体育	生活単元学 習	遊びの指導	音楽	図画工作
業間 5分					
4校時 11:20~11:40	課題学習				
5校時(給食) 12:00~13:00	給食				
6校時/日生 13:00~13:45	日常生活の 指導	日常生活の 指導	日常生活の指 導(掃除)	日常生活の 指導	日常生活の 指導
業間/日生 13:50~14:10	13:20下校		日常生活の 指導	13:20下校	13:20下校
7校時 13:50~14:35			14:10下校		
業間 5分					
日生 14:40~15:10					

8:55 登校	小3(標準時数980単位時間)				
	月	火	水	木	金
1校時 8:55~9:40	日常生活の指導				
業間 なし					
2校時 9:40~10:25	体育	音楽	課題学習	音楽	生活単元学 習(集)
業間 5分					
3校時 10:30~11:15	生活単元学 習(視)	図画工作	体育/日常生 活の指導	図画工作	遊びの指導
業間 5分					
4校時 11:20~11:40	課題学習				
5校時(給食) 12:00~13:00	給食				
6校時/日生 13:00~13:45	日常生活の 指導	日常生活の 指導	日常生活の指 導(掃除)	生活単元学 習(集)	日常生活の 指導
業間/日生 13:50~14:10	13:20下校	13:20下校	日常生活の 指導		13:20下校
7校時 13:50~14:35			14:10下校	課題学習	
業間 5分					
日生 14:40~15:10				日常生活の 指導	
					15:10下校

8:55 登校	小4(標準時数1015単位時間)				
	月	火	水	木	金
1校時 8:55~9:40	日常生活の指導				
業間 なし					
2校時 9:40~10:25	生活単元学 習(集)	課題学習	音楽	生活単元学 習(集)	体育/日常生 活の指導
業間 5分					
3校時 10:30~11:15	遊びの指導	図画工作	生活単元学 習(視)	図画工作	音楽
業間 5分					
4校時 11:20~11:40	課題学習				
5校時(給食) 12:00~13:00	給食				
6校時/日生 13:00~13:45	日常生活の 指導	体育	課題学習	課題学習	日常生活の 指導
業間/日生 13:50~14:10	13:20下校		日常生活の 指導		13:20下校
7校時 13:50~14:35		生活単元学 習(集)	14:10下校	日常生活の指 導(掃除)	
業間 5分					
日生 14:40~15:10		日常生活の 指導		日常生活の 指導	
					15:10下校

8:55 登校	小5(標準時数1015単位時間)				
	月	火	水	木	金
1校時 8:55~9:40	日常生活の指導				
業間 なし					
2校時 9:40~10:25	課題学習	生活単元学 習(集)	課題学習	体育/日常生 活の指導	音楽
業間 5分					
3校時 10:30~11:15	図画工作	遊びの指導	音楽	生活単元学 習(集)	生活単元学 習(視)
業間 5分					
4校時 11:20~11:40	課題学習				
5校時(給食) 12:00~13:00	給食				
6校時/日生 13:00~13:45	日常生活の 指導	課題学習	生活単元学 習(集)	日常生活の指 導(掃除)	日常生活の 指導
業間/日生 13:50~14:10	13:20下校		日常生活の 指導		13:20下校
7校時 13:50~14:35		体育	14:10下校	図画工作	
業間 5分					
日生 14:40~15:10		日常生活の 指導		日常生活の 指導	
					15:10下校

8:55 登校	小6(標準時数1015単位時間)				
	月	火	水	木	金
1校時 8:55~9:40	日常生活の指導				
業間 なし					
2校時 9:40~10:25	課題学習	体育	遊びの指導	課題学習	生活単元学 習(視)
業間 5分					
3校時 10:30~11:15	図画工作	音楽	生活単元学 習(集)	図画工作	体育/日常生 活の指導
業間 5分					
4校時 11:20~11:40	課題学習				
5校時(給食) 12:00~13:00	給食				
6校時/日生 13:00~13:45	日常生活の 指導	生活単元学 習(集)	日常生活の指 導(掃除)	音楽	日常生活の 指導
業間/日生 13:50~14:10	13:20下校		日常生活の 指導		13:20下校
7校時 13:50~14:35		課題学習	14:10下校	生活単元学 習(集)	
業間 5分					
日生 14:40~15:10		日常生活の 指導		日常生活の 指導	
					15:10下校

令和8年度 石狩紅葉山校舎小学部 時間割

8:55 登校	1 学年				
	月	火	水	木	金
1校時 8:55~9:40	日常生活の指導				
業間 なし					
2校時 9:40~10:00	課題学習				
業間 5分					
3校時 10:05~10:50	音楽/体育	遊びの指導	音楽	体育	図画工作
業間 5分					
4校時 10:55~11:40	課題学習	遊びの指導/ 生活単元学習	課題学習	生活単元 学習	図画工作/ 生活単元学習
5校時(給食) 12:00~13:00	給食				
6校時/日生 13:00~13:45	日常生活の 指導	日常生活の 指導	日常生活の 指導(掃除)	日常生活の 指導	日常生活の 指導
業間/日生 13:50~14:10	13:20下校	13:20下校	日常生活の 指導	13:20下校	13:20下校
7校時 13:50~14:35	14:10下校				
業間 5分					
日生 14:40~15:10					

8:55 登校	2 学年				
	月	火	水	木	金
1校時 8:55~9:40	日常生活の指導				
業間 なし					
2校時 9:40~10:00	課題学習				
業間 5分					
3校時 10:05~10:50	音楽/体育	遊びの指導	音楽	体育	図画工作
業間 5分					
4校時 10:55~11:40	課題学習	遊びの指導/ 生活単元学習	課題学習	生活単元 学習	図画工作/ 生活単元学習
5校時(給食) 12:00~13:00	給食				
6校時/日生 13:00~13:45	日常生活の 指導	日常生活の 指導	日常生活の 指導(掃除)	日常生活の 指導	日常生活の 指導
業間/日生 13:50~14:10	13:20下校	13:20下校	日常生活の 指導	13:20下校	13:20下校
7校時 13:50~14:35	14:10下校				
業間 5分					
日生 14:40~15:10					

8:55 登校	3 学年				
	月	火	水	木	金
1校時 8:55~9:40	日常生活の指導				
業間 なし					
2校時 9:40~10:00	課題学習				
業間 5分					
3校時 10:05~10:50	音楽/体育	遊びの指導	音楽	体育	図画工作
業間 5分					
4校時 10:55~11:40	課題学習	遊びの指導/ 生活単元学習	課題学習	生活単元 学習	図画工作/ 生活単元学習
5校時(給食) 12:00~13:00	給食				
6校時/日生 13:00~13:45	日常生活の 指導	日常生活の 指導	音楽/体育	課題学習	日常生活の 指導
業間/日生 13:50~14:10	13:20下校	13:20下校	日常生活の 指導		13:20下校
7校時 13:50~14:35	14:10下校				
業間 5分				日常生活の 指導	
日生 14:40~15:10				日常生活の 指導	

15:10下校

8:55 登校	4 学年~6 学年				
	月	火	水	木	金
1校時 8:55~9:40	日常生活の指導				
業間 なし					
2校時 9:40~10:00	課題学習				
業間 5分					
3校時 10:05~10:50	生活単元 学習	体育	図画工作	音楽	体育
業間 5分					
4校時 10:55~11:40	課題学習	音楽	図画工作	課題学習	課題学習
5校時(給食) 12:00~13:00	給食				
6校時/日生 13:00~13:45	日常生活の 指導	遊びの指導	課題学習	日常生活の 指導	日常生活の 指導
業間/日生 13:50~14:10	13:20下校		日常生活の 指導		13:20下校
7校時 13:50~14:35	14:10下校				
業間 5分		生活単元 学習		生活単元 学習	
日生 14:40~15:10		日常生活の 指導		日常生活の 指導	

15:10下校

15:10下校

令和8年度中学部週時程

8:45登校	星置校舎 中学部1年生				
	月	火	水	木	金
8:55①	日常生活の指導(朝の会等) 保健体育(からだづくり)				
9:40②	音楽	作業学習	美術	生活単元学習	作業学習
10:30③	課題学習	作業学習	美術	課題学習	作業学習
11:20④	日常生活の指導	課題学習/ 日常生活の指導	課題学習/ 日常生活の指導	保健体育/ 日常生活の指導	日常生活の指導
12:10⑤	日常生活の指導(給食など)				
13:00⑥	日常生活の指導 13:20下校	生活単元学習	保健体育/ 日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導 13:20下校
13:50⑦		生活単元学習	日常生活の指導 14:10下校	音楽	
14:40		日常生活の指導		日常生活の指導	
		15:10下校		15:10下校	

※総合的な学習の時間は年間40単位時間を特定の時期に実施する。

8:45登校	星置校舎 中学部2年生				
	月	火	水	木	金
8:55①	日常生活の指導(朝の会等) 保健体育(からだづくり)				
9:40②	作業学習	音楽	作業学習	生活単元学習	音楽
10:30③	作業学習	課題学習/ 日常生活の指導	作業学習	生活単元学習	生活単元学習
11:20④	日常生活の指導	保健体育/ 日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	課題学習/ 日常生活の指導
12:10⑤	日常生活の指導(給食など)				
13:00⑥	日常生活の指導 13:20下校	美術	課題学習	保健体育/ 日常生活の指導	日常生活の指導 13:20下校
13:50⑦		美術	日常生活の指導 14:10下校	課題学習	
14:40		日常生活の指導		日常生活の指導	
		15:10下校		15:10下校	

※総合的な学習の時間は年間40単位時間を特定の時期に実施する。

8:45登校	星置校舎 中学部3年生				
	月	火	水	木	金
8:55①	日常生活の指導(朝の会等) 保健体育(からだづくり)				
9:40②	生活単元学習	美術	生活単元学習	作業学習	課題学習
10:30③	音楽	美術	生活単元学習	作業学習	音楽
11:20④	課題学習/ 日常生活の指導	課題学習/ 日常生活の指導	保健体育/ 日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
12:10⑤	日常生活の指導(給食など)				
13:00⑥	日常生活の指導 13:20下校	作業学習	日常生活の指導	課題学習	日常生活の指導 13:20下校
13:50⑦		作業学習	日常生活の指導 14:10下校	保健体育/ 日常生活の指導	
14:40		日常生活の指導		日常生活の指導	
		15:10下校		15:10下校	

※総合的な学習の時間は年間40単位時間を特定の時期に実施する。

8:50登校	紅葉山校舎 中学部1～3年生				
	月	火	水	木	金
	日常生活の指導(着替え、朝の会)				
8:55①②	課題学習				
	日常生活の指導(からだづくり)				
10:05③	作業学習	生活単元学習	美術	生活単元学習/ 総合的な学習の時間	作業学習
10:55④					
11:45⑤	課題学習 日常生活の指導				
13:00⑥	日常生活の指導 13:20下校	音楽	音楽	保健体育	日常生活の指導 13:20下校
13:50⑦		保健体育	日常生活の指導 14:10下校	課題学習	
14:40		日常生活の指導		日常生活の指導	
		15:10下校		15:10下校	

8 日課表〔星置校舎〕

	時 程		
	小学部	中学部	
職員出勤 8:30	月～金		
職員打ち合わせ 8:40			
児童生徒登校	8:45～8:55		
1校時	8:55～9:40	8:55～9:40	
2校時	9:40～10:25	9:40～10:30	
3校時	10:30～11:15	10:30～11:20	
4校時	11:20～11:40	11:20～12:10	
5校時	12:00～13:00	12:10～13:00	
6校時	13:00～13:45	13:00～13:50	
7校時	13:50～14:35	13:50～14:40	
8校時	14:40～15:10	14:40～15:10	
下校時刻	月、金	全校 13:20	
	水	全校 14:10	
	火	小1～3	13:20
		小4～6・中学部	15:10
木	小1、2	13:20	
	小3～6・中学部	15:10	
職員退勤 17:00			

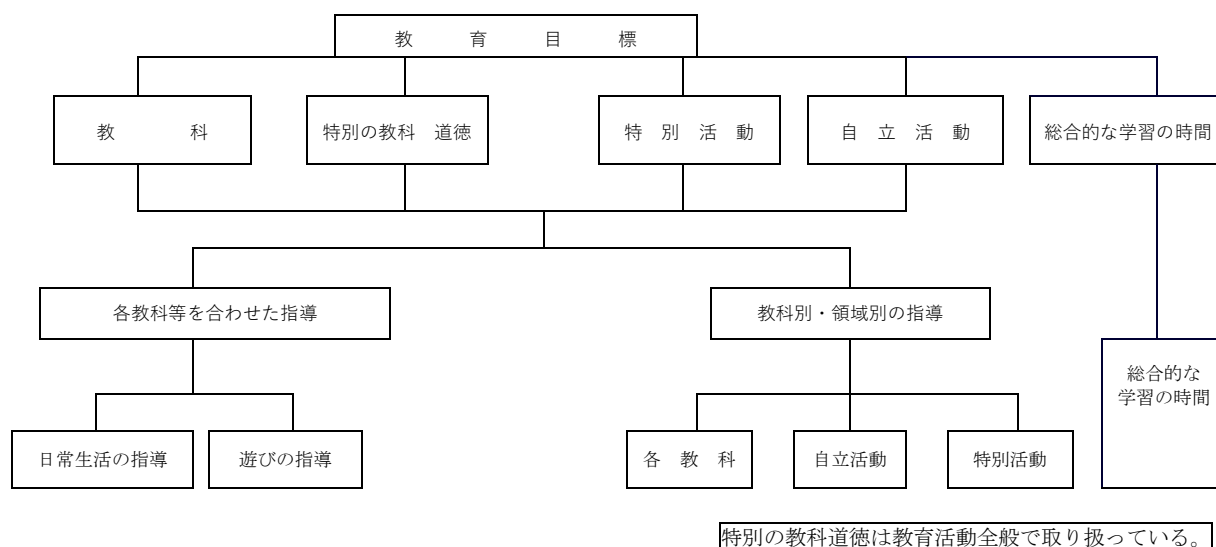
8 日課表〔石狩紅葉山校舎〕

	時 程		
	小学部	中学部	
職員出勤 8:30	月～金		
職員打ち合わせ 8:40			
児童生徒登校	8:50～8:55		
1校時	8:55～9:20	8:55～9:20	
2校時	9:20～10:00	9:20～10:05	
3校時	10:05～10:50	10:05～10:55	
4校時	10:55～11:40	10:55～11:45	
5校時	12:00～13:00	11:45～13:00	
6校時	13:00～13:45	13:00～13:50	
7校時	13:50～14:35	13:50～14:40	
8校時	14:40～15:10	14:40～15:10	
下校時刻	月、金	全校 13:20	
	水	全校 14:10	
	火	小1～3	13:20
		小4～6・中学部	15:10
木	小1、2	13:20	
	小3～6・中学部	15:10	
職員退勤 17:00			

9 訪問教育部教育課程

(1) 教育課程編成の基本方針(在校教育に同じ)

(2) 教育課程の全体構造



訪問教育の対象となっている児童生徒の実態は、心身の障害が多様であり、発達状態も準ずる教育対象の者から自立活動を主とした者まで様々である。このことに対し、より効果的な教育活動を展開するために、教育課程は児童生徒一人一人に対応するように柔軟な構成とするものである。基本的には上記の構造の中で実態に合うように 児童生徒一人一人 で再構成される。

(3) 指導の計画作成上の留意点

- ア 個別の指導計画を作成し、個別指導を中心としたゆとりあるきめ細かな指導を行う。
- イ 児童生徒の障害、発達特性、興味・関心、要求などの適切な実態把握を行う。
- ウ 心身の状況により、合同学習や登校学習、学校行事への参加が可能な児童生徒に対しては、健康と安全に配慮した無理のない計画を立てる。
- エ 家庭の事情、施設の療育内容や医療行為などを踏まえ、各家庭や関係機関の理解と協力が得られるよう十分配慮した指導計画を作成する。

(4) 年間授業時数

ア 訪問指導

訪問指導	年間35週（105日）を標準とし、週当たりの時数は6時間程度とする。
登校指導	入学式、卒業式、運動会、学習発表会、宿泊研修、見学旅行、同学年との交流などが含まれる。
授業日数	訪問指導日数と登校学習日数を合わせて授業日数とする。

イ 訪問先

大倉山学院、緑ヶ丘療育園、在宅

4月		5月		6月	
1水	学年始休業日～7日(7日間)	1金		1月	
2木		2土		2火	
3金		3日	憲法記念日	3水	尿検査3次
4土		4月	みどりの日	4木	
5日		5火	こどもの日	5金	
6月		6水	休日	6土	紅)もみリンピック
7火		7木		7日	
8水	着任式・第1学期始業式11:40下校	8金	星) 歯科検診(小1～小4) 9:30～ 第1回PTA茶話会(星置校舎)	8月	紅) 振替休業日
9木	入学式 下校 在校)13:20 星新)11:10 紅小)15:10中)15:20	9土		9火	
10金	星) 中学部二計測 小1下校11:40(～14日) 訪) 授業開始	10日		10水	星) 運動会総練習
11土		11月		11木	
12日		12火	第1回PTA茶話会(紅葉山校舎)	12金	星中1) 学年懇談
13月	星) 第1回保護者説明会 星) 新転入生保護者説明会 星) 小学部二計測 紅) 中学部二計測	13水	紅) 交通安全教室	13土	(訪問) 大倉山運動会 星) 運動会
14火	全校研修日① 全校13:20下校 紅) 第1回保護者説明会 紅) 新転入生保護者説明会	14木	尿検査2次	14日	
15水	金曜日① 全校13:20下校 小1給食開始13:20下校(～22日) 尿検査1次	15金	星) 内科検診9:30～(小1～小4)	15月	星小訪) 振替休業日
16木	個別の指導計画検討週間13:20下校～22日 紅) 小学部二計測	16土		16火	星) 眼科検診9:15～
17金	新入生(中1) 転入生スクールバス乗車開始 PTA) 新役員会・専門部会・事務部会議 心電図検査(紅葉山校舎小1、中1) 10:00～	17日		17水	紅) 歯科検診9:30～
18土		18月	開校記念日	18木	
19日		19火	心電図検査(星置校舎小1、中1 AM9:15～ PM12:45～)	19金	紅) 内科検診9:30～(全学年)
20月		20水	星) 耳鼻科検診9:30～(小1、小4、中1)	20土	
21火	星) 第1回避難訓練 紅) 第1回避難訓練	21木		21日	
22水		22金	星) 内科検診9:30～(小5～中3)	22月	星中3) 参観日 2校時 紅) 学年懇談会(小1、2、3)
23木	小1スクールバス乗車開始 星中) 新入生歓迎会	23土		23火	星・紅) 教育実習1期 ～7/10(14日間) 中3) 見学旅行(～25日(木))
24金		24日		24水	小4合同学習
25土		25月	個別指導週間13:20下校 ～29日 紅) もみリンピック特別時間割開始～6/5	25木	
26日		26火		26金	中3) 学年休業日 星) 小学部6年学年懇談 (訪問) 緑ヶ丘運動会
27月		27水	星小) 運動会特別時間割開始～6/13	27土	
28火	PTA) PTA総会 星中2) 学年懇談 星中3) 学年懇談	28木		28日	
29水	昭和の日	29金		29月	紅) 学年懇談会(小4、5、6)
30木	星) 歯科検診(小5～中3) 9:30～	30土		30火	紅) 眼科検診9:30～ 星中1) 参観日 2校時
		31日			
授業日	16日(小1、中1 15日)	17日		22日(中3 21日)	
授業日数	16日(小1、中1 15日)	33日(小1、中1 32日)		55日(小1、中1、中3 54日)	
		中学部学部懇談(紅)			

北海道星置養護学校 令和8年度(2026年度)年間行事予定 【前期】 令和8年 3月 24日現在

7月		8月		9月	
1	水 紅) なつまつり	1	土 11	1	火 介護等体験Ⅰ期1日目(講義)
2	木 中1) 社会体験学習 星中2) 参観日 2校時	2	日 12	2	水 介護等体験Ⅰ期2日目(実習) 小6合同学習
3	金 星) 小学部5年学年懇談	3	月 13	3	木 紅) 第2回避難訓練 星) 小2遠足
4	土	4	火 14	4	金
5	日	5	水 15	5	土
6	月	6	木 16	6	日
7	火 中2) 宿泊行事前特別日課13:20下校	7	金 17	7	月
8	水 中2) 宿泊研修~9日(木)	8	土 18	8	火 介護等体験Ⅱ期1日目(講義) 星小2) 参観日 2校時
9	木	9	日 19	9	水 介護等体験Ⅱ期2日目(実習) 小5合同学習
10	金 中2) 学年休業日 星) 小学部1年学年懇談	10	月 学校設定(閉庁日) 20	10	木 星小1) 参観日 3校時
11	土	11	火 山の日 21	11	金
12	日	12	水 閉庁日~14日 22	12	土
13	月 星小5) 参観日 2校時	13	木 23	13	日
14	火 星小3) 参観日 3校時	14	金 24	14	月 個別訓練週間 通常下校 ~18日
15	水 星小6) 参観日 3校時 星) 小2体験学習	15	土 25	15	火 星) 小4遠足
16	木 星小4) 参観日 2校時 紅小) 参観日 3校時	16	日 26	16	水
17	金 紅中) 参観日 3校時	17	月 27	17	木 星) 小3遠足
18	土	18	火 28	18	金 星) 小1遠足
19	日	19	水 29	19	土
20	月 海の日	20	木 第2学期始業式 13:20下校	20	日
21	火 第1学期終業式 13:20下校	21	金	21	月 敬老の日
22	水 夏季休業日~8/19(29日間)	22	土	22	火 休日
23	木	23	日	23	水 秋分の日
24	金	24	月	24	木 星) 第2回避難訓練 紅・星小) Ⅱ期教育実習 ~10/14(14日間)
25	土	25	火 個別の指導計画検討週間13:20下校~8/31	25	金 (訪問) 訪問教育登校学習
26	日	26	水	26	土
27	月	27	木	27	日
28	火	28	金	28	月
29	水	29	土 29	29	火 介護等体験Ⅲ期1日目(講義) 小6 宿泊行事前特別日課13:20下校
30	木	30	日	30	水 介護等体験Ⅲ期2日目(実習) 小6見学旅行~10月1日(木)
31	金	31	月		
授業日	14日(中2 13日)	授業日	8日	授業日	19日
授業日数	69日(小1、中1~3 68日)	授業日数	77日(小1、中1~3 76日)	授業日数	96日(小1、中1~3 95日)
備考	紅葉山校舎プール学習	備考	紅葉山校舎プール学習	備考	紅) 花川北中との交流

北海道星置養護学校 令和8年度(2026年度)年間行事予定 【後期】令和8年3月24日現在

10月		11月		12月	
1 木		1 日		1 火	星中)保護者説明会(在校小6保護者対象) 星小6)参観日 7校時
2 金	小6学年休業日	2 月	紅学)特別時間割開始 星中)Ⅱ期教育実習 ~11/20(14日間)	2 水	星小2)参観日 2校時
3 土		3 火	文化の日	3 木	星小5)参観日 2校時
4 日		4 水		4 金	星小4)参観日 3校時
5 月		5 木		5 土	
6 火	小5宿泊行事前特別日課13:20下校 介護等体験Ⅳ期1日目(講義)	6 金		6 日	
7 水	小5宿泊研修~8日(木) 介護等体験Ⅳ期2日目(実習)	7 土		7 月	星中1)参観日 3校時
8 木		8 日		8 火	
9 金	紅)中学部二計測 小5学年休業日	9 月		9 水	
10 土		10 火		10 木	受検説明会(星・紅) 星中3)参観日 7校時 紅中)参観日 3校時 紅小)参観日 3校時 星小1)参観日 3校時
11 日		11 水	星小学)総練習	11 金	
12 月	スポーツの日	12 木	星小学)総練習②	12 土	
13 火		13 金	星小学)前日準備	13 日	
14 水	紅)社会見学 星)小学部二計測	14 土	星小学)学習発表会 (訪問)大倉山学習発表会	14 月	
15 木	星)中学部二計測 紅)学校説明会	15 日		15 火	
16 金	星)学校説明会	16 月	星小・訪学)振替休業日	16 水	全校研修日② 全校13:20下校
17 土		17 火		17 木	会館日② 全校13:20下校
18 日		18 水		18 金	星小3)参観日 3校時
19 月		19 木	紅学)総練習	19 土	
20 火		20 金		20 日	
21 水	紅)小学部二計測 星)小1体験学習	21 土	紅葉山学習発表会	21 月	
22 木	星中学)総練習、総練習反省	22 日		22 火	会館日③ 全校13:20下校 紅)年末お楽しみ会
23 金		23 月	勤労感謝の日	23 水	第2学期終業式13:20下校
24 土	星中学)学習発表会	24 火	紅)振替休業日	24 木	冬季休業~1/18(26日間)
25 日		25 水	星中2)参観日 2校時	25 金	1
26 月	星中学)振替休業日 星小学)特別時間割開始	26 木		26 土	2
27 火		27 金		27 日	3
28 水		28 土		28 月	4
29 木		29 日		29 火	5
30 金	(訪問)緑ヶ丘学習発表会	30 月		30 水	6
31 土				31 木	7
授業日	21日(小5、小6 20日)	授業日	19日	授業日	17日
授業日数	117日(小1、5、6、中1~3 116日)	授業日数	136日(小1、5、6、中1~3 135日)	授業日数	153日(小1、5、6、中1~3 152日)
備考	紅)校外学習(工場見学)(10月中旬予定)	備考		備考	紅)一日体験実習(12月中旬予定)

1 月		2 月		3 月	
1 金	元日 9	1 月		1 月	
2 土		2 火		2 火	
3 日		3 水	会議日⑤13:20下校	3 水	会議日⑦ 全校13:20下校 星)卒業式学習④
4 月		4 木	星)第3回避難訓練 紅)第3回避難訓練	4 木	星中)卒業を祝う会
5 火		5 金		5 金	星)卒業式総練習
6 水		6 土		6 土	
7 木		7 日		7 日	
8 金		8 月		8 月	紅)卒業式総練習
9 土		9 火		9 火	
10 日		10 水	会議日⑥ 全校13:20下校	10 水	星)卒業証書授与式 下校(小卒)11:30、(中卒)15:40、(在)13:20 紅)会議日⑧ 全校13:20下校 紅)卒業式前日準備
11 月	成人の日	11 木	建国記念の日	11 木	紅)卒業証書授与式 下校 卒)11:10、(在)13:20 星)引き継ぎ業務日 全校13:20下校
12 火		12 金		12 金	星)入学予定者説明会(予備) (訪問)大倉山卒業式
13 水		13 土		13 土	
14 木		14 日		14 日	
15 金		15 月		15 月	
16 土		16 火		16 火	引継業務日 全校13:20下校
17 日		17 水	卒)個別懇談週間~24日 全校13:20下校 星)卒業式学習①	17 水	全校研修日③ 全校13:20下校
18 月		18 木		18 木	引継業務日 全校13:20下校
19 火	第3学期始業式 13:20下校	19 金	星小)雪中学習終了	19 金	
20 水	個別の指導計画検討週間13:20下校 ~26日 星小)雪中学習開始~2/19	20 土		20 土	
21 木		21 日		21 日	春分の日
22 金		22 月	在)個別懇談週間(26日を除く) ~3/2 全校13:20下校 星)卒業式学習②	22 月	振替休日
23 土		23 火	天皇誕生日	23 火	引継業務日 全校13:20下校 訪)授業最終日
24 日		24 水		24 水	修了式 離任式 11:40下校
25 月		25 木		25 木	学年末休業日~31日(7日間)
26 火		26 金	入学予定者説明会 (小1~4 学年休業日) (個別懇談なし) 星)卒業式学習③	26 金	
27 水	会議日④ 全校13:20下校	27 土		27 土	
28 木		28 日		28 日	
29 金				29 月	
30 土				30 火	
31 日				31 水	
授業日	9日	授業日	18日(小1~4 17日)	授業日	17日(星小6、中3 8日、紅小6、中3 9日)
授業日数	162日(小1、5、6、中1~3 161日)	授業日数	小1 178日 小2~中3 179日	授業日数	小1 195日 小2~小5、中1、2 196日 星小6、中3 187日 紅小6、中3 188日
備考	紅)ほしみ高等学園見学(1月下旬)	備考	紅)新転入者説明会(入学予定者説明会同時開催) 紅)卒業を祝う会(紅葉山集会同日開催)	備考	